

雑報

1991年度筑波大学水理実験センター年次研究報告会

日時：1992年2月27日（木）午前9時00分より

場所：筑波大学水理実験センター会議室

プログラム

- 9:00 開会の挨拶 榎根 勇（水理実験センター長）
- 一般講演
1. 9:10—9:25 菅平盆地における水中の硝酸イオンについて
○谷山 稔（環境）・田瀬則雄・古藤田一雄（地球）・伏脇裕一（神奈川県環境）
2. 9:25—9:35 菅平における降水と河川水の安定同位体比について
○宮下雄次（自然）・田瀬則雄（地球）
3. 9:35—9:50 処分地における地中水のモニタリング
○坪谷太郎（環境）・田瀬則雄（地球）
4. 9:50—10:05 玉川上水における水質の浄化について
○鈴村 力（環境）・田瀬則雄（地球）
5. 10:05—10:20 インドネシア、バリ島における土壤の水文物理特性について
○田中 正（地球）・板寺一洋（温地研）・嶋田 純（地球・水セ）・N. Sunarta (Udayana Univ.)
6. 10:20—10:35 インドネシア、バリ島における土壤水の水素・酸素安定同位体比について
○田中 正（地球）・嶋田 純（地球）・板寺一洋（温地研）・中井信之（名大）
- (10:35—10:45)
7. 10:45—10:55 山地源流域における土壤水・地下水・流出水の滞留時間について
○松谷 順（自然）・田中 正（地球）・辻村真貴（地院）
8. 10:55—11:10 二、三の異なる基盤岩質からなる小流域での地中水と流出水の挙動
○廣瀬 孝（地院）・松倉公憲（地球）・恩田裕一（学振特）
9. 11:10—11:25 黒部川扇状地の地下水の三次元非定常解析
榎根 勇（地球）・裏 相根（啓明大）○辻村真貴（地院）
10. 11:25—11:40 モーメントを用いた均一砂層カラム中における吸着を伴う物質移動の解析
杉田 文（地球）
11. 11:40—11:50 異なる深度の地下水面が蒸発に及ぼす影響についての研究
○木村文康（自然）・嶋田 純（地球・水セ）・松山哲哉（地院）
12. 11:50—12:05 高分子膜湿度センサーによる土壤中の水蒸気量計測の可能性
○松山哲哉（地院）・嶋田 純（地球・水セ）・古藤田一雄（地球）
- (12:05—13:00)
13. 13:00—13:15 土壌面蒸発における乾燥表層の形成とその蒸発抑制作用
○松山哲哉（地院）・古藤田一雄（地球）
14. 13:15—13:30 蒸発に伴う表層土壌の水分変化に関する研究
○嶋田 純（地球・水セ）・辻村真貴（地院）

15. 13:30-13:40 裸地表面のアルベドと土壌水分の関係に関する研究
○粟倉美砂子 (地院)・西沢利栄 (地球)
16. 13:40-13:55 傾度法, 熱収支法による農耕地のフラックスの特性とその差異
○宮田 明 (農環研)・野口伸一 (自然)・土谷彰男 (農環研)・西沢利栄 (地球)・原菌芳信 (農環研)
17. 13:55-14:10 アカマツ林床のシラカシ稚樹の成長と微気象環境
○宇佐美哲之 (生物)・及川武久 (生科)
18. 14:10-14:20 種々の雲量のもとでの下向き長波放射量の瞬間値を推定するための実験式
杉田倫明 (地球・水セ)
19. 14:20-14:30 スペクトル気候学からみた水理実験センターの気温変動
○田 少奮 (水セ)・溝口恵美 (自然)・安成哲三 (地球)
- (14:30~14:45)
20. 14:45-15:00 急勾配水路を用いた礫の流動実験結果の分析
○渡部 真 (地院)・池田 宏 (地球・水セ)
21. 15:00-15:10 閉管路実験装置による混合砂礫の流送実験 (予報)
○池田 宏 (地球・水セ)・伊勢屋ふじこ (上武大)・小玉芳敬 (水セ)・飯島英夫 (水セ)
22. 15:10-15:20 大井川上流・赤崩れにおける急激な地形変化
伊勢屋ふじこ (上武大)・池田 宏 (地球・水セ)・眞板秀二 (農工)・○小玉芳敬 (水セ)
23. 15:20-15:35 白山における登山道のひろがりとその要因
○山田周二 (環境)・安仁屋政武 (地球)
24. 15:35-14:45 富士山大沢における岩樋の発達について
○長谷川祐二 (自然)・池田 宏 (地球)
25. 15:45-15:55 砂礫を伴う水流による巨礫の摩耗に関する実験的研究
○北島美宇 (自然)・小玉芳敬 (水セ)
26. 15:55-16:10 礫床河川における砂礫堆形成にともなう河岸の侵食
○米山哲郎 (環境)・松本栄次 (地球)
27. 16:10-16:20 超小型発信機を用いた礫の追跡手法の確立
○飯島英夫 (水セ)・Shlomo Sharoni (地研)
28. 16:20-16:35 砂床河川における礫の流送に関する大型水路実験
○Shlomo Sharoni (地研)・池田 宏 (地球・水セ)・小玉芳敬 (水セ)・飯島英夫 (水セ)
-

注1) 発表時間には質疑討論の時間が含まれます,

2) ○印は口頭発表者, () は所属を示す,

農環研: 農水省農業環境技術研究所・気象特性研究室 神奈川環境: 神奈川県環境科学センター 温地研:
神奈川温泉地学研究所 名大: 名古屋大学理学部 Udayana Univ.: Udayana Univ., Bali, Indonesia
上武大: 上武大学商学部 啓明大: 啓明大学校工科大学土木工学科 農工: 農林工学系 生物: 生物学類
生科: 生物科学系 地球: 地球科学系 環境: 環境科学系 地院: 地球科学研究科 地研: 地球科学研
究科研究生 学振特: 日本学術振興会特別研究員 自然: 自然学類 水セ: 水理実験センター

なお講演終了後, 水理実験センター会議室において, 懇親会を開きますのでご気軽に御参加下さい, 会費は1,000円程度
の予定です,

報告会・懇親会に関するお問い合わせは水理実験センター・田または杉田 (0298-53-2533) まで